

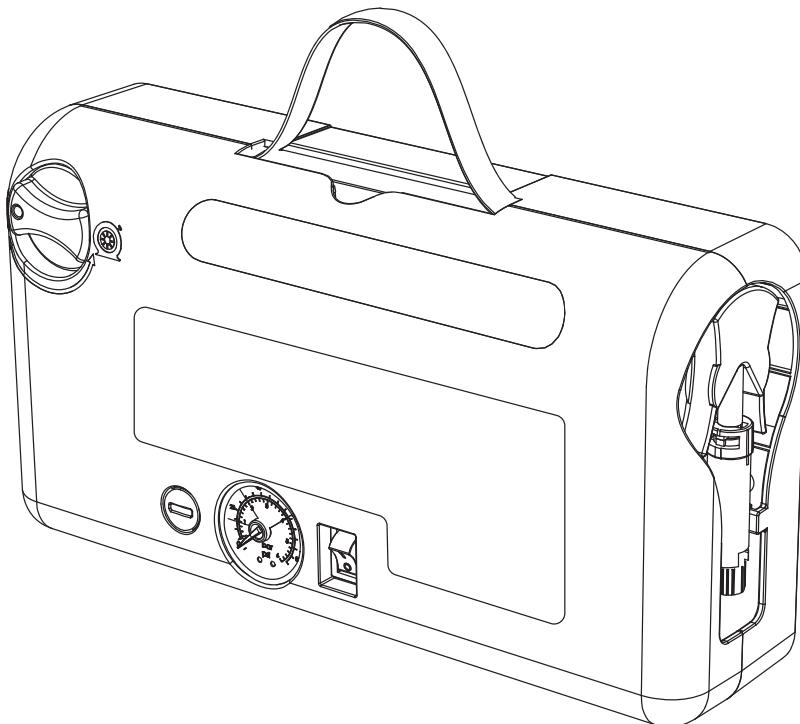
Lehrmeister®

ResQTech

TIRE REPAIR KIT

by *airMAN*®

取扱説明書



目次

- | | | | |
|---------------------|------|---------------|------|
| □ はじめに / 安全に使用するために | … P1 | □ 製品説明 | … P4 |
| □ 使用可能タイヤについて | … P2 | □ 使用方法 | … P5 |
| □ 詳細図 | … P3 | □ シーラントボトルの交換 | … P9 |

ーはじめにー

この度は、レアマイスター ResQ Tech パンク応急修理キットby Airmanをお買い求め頂き誠に有難うございます。

本製品は直径6mm以下の傷によるパンクを一時的に応急修理し、近くのガソリンスタンドやタイヤショップ(走行距離200km以内、制限速度80km/h以下)までの走行を可能にする製品です。(損傷箇所、具合により応急処置が出来ない場合もございます。)

また、日常の空気圧点検にも使用できますので、定期的なタイヤの空気圧チェックをお勧め致します。

この取扱説明書では本製品の使用方法・注意事項を説明しております。

本書をよく読み マニュアルに従って安全に使用してください。

製品の免責について

本製品の誤使用や本来の目的以外の使用により、使用者あるいは第三者が被った損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますので御了承ください。

ー安全に使用するためにー

- ・本製品を使用する前に、本書をよく読み マニュアルに従って作業してください。
- ・本製品専用のシーラントをお使いください。
- ・本製品を使用する際、車を他車の走行の妨げにならない、安全な場所に車を停めてハザードランプあるいは、三角表示板を置いて他車のドライバーに注意を促してください。
- ・作業中は、車両のバッテリー電圧が下がらないようエンジンをかけた状態でご使用ください。
- ・本製品を使用中はその場から離れないでください。

△取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い上の注意事項

応急修理用シーラント液:

- ・絶対に飲用しないで下さい。飲用すると人体に危害を与えます。
- ・万が一、シーラントを飲み込んだ場合は、直ちに 医師の診断を受けてください。
- ・目に入った場合、炎症を起こす恐れがあります。万が一、目に入った場合は水でよく洗い流してください。また、皮膚に付着すると、稀にアレルギー反応が起こる場合があります。皮膐に付着した場合は水でよく洗い流してください。いずれの場合も 異常を感じた場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- ・シーラントが衣類に付着するとシミになる恐れがあります。
- ・シーラントがホイールや、車体に付着したまま放置すると取れにくくなる場合があります。
- ・作業中は、飲食や喫煙はしないでください。
- ・屋内では使用しないで下さい。
- ・専用容器以外での シーラント液の保管はしないで下さい。
- ・本製品のシーラント液には、プロピレングリコロールを使用しております。

使用期限を過ぎたシーラント液、作業後のシーラント液、シーラントボトルの処理は、地域条例に従い廃棄してください。

エアーコンプレッサー:

- ・オーバーヒート、故障の原因になりますので、15分以上の連続使用はしないで下さい。
- ・シガーソケット以外から電源を取らないでください。
- ・雨天時にはエアーコンプレッサーに直接雨がかからないようにご使用ください。

取り扱い上の注意事項

- ・本製品は直射日光、雨、油脂類、熱源を避けて、車両のトランクなどに保管してください。
- ・-20°から+70°Cの温度で保管、使用してください。
- ・使用期限の過ぎたシーラントは使用せず、新しいシーラントに交換してください。

※シーラント使用期限:シーラントボトル側面へ記載

(例)EXP:10/2018=2018年10月まで

- ・空気圧が高い場合は空気減圧ボタンを押し、空気を抜いて空気圧を調整してください。
使用中はその場から離れないで下さい。

- ・小さなお子様の手の届かない場所で保管してください。

※本書の内容は、予告無く変更されることがあります。

下記の状況下では使用出来ません。専門店にご相談ください。

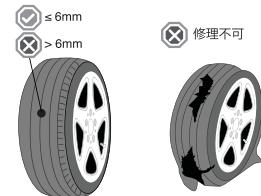
- ・直径6mm以上の傷がある場合。
- ・パンクによりタイヤの空気が完全に抜けている場合。
- ・ホイールやホイールのエアバルブが損傷している場合。
- ・1本のタイヤに2箇所以上の破損がある場合。
- ・タイヤがホイールから外れている場合。
- ・複数のタイヤがパンクした場合。
- ・パンク部分の破損が激しい場合やタイヤサイド部分の傷によるパンク、低空気圧での走行によりサイド部分にダメージがある場合、本製品での補修はできません。



使用可能タイヤについて

国産車/輸入車 チューブレスタイヤ専用

- ・軽自動車純正装着サイズ、コンパクトカー純正装着サイズ使用可能
- ・普通乗用車純正装着サイズ使用可能(※下記サイズ除く)
- ・インチアップタイヤ使用可能(※下記サイズ除く)
- ・SUVタイヤ使用可能(※下記サイズ除く)



使用不可能/不適合サイズ

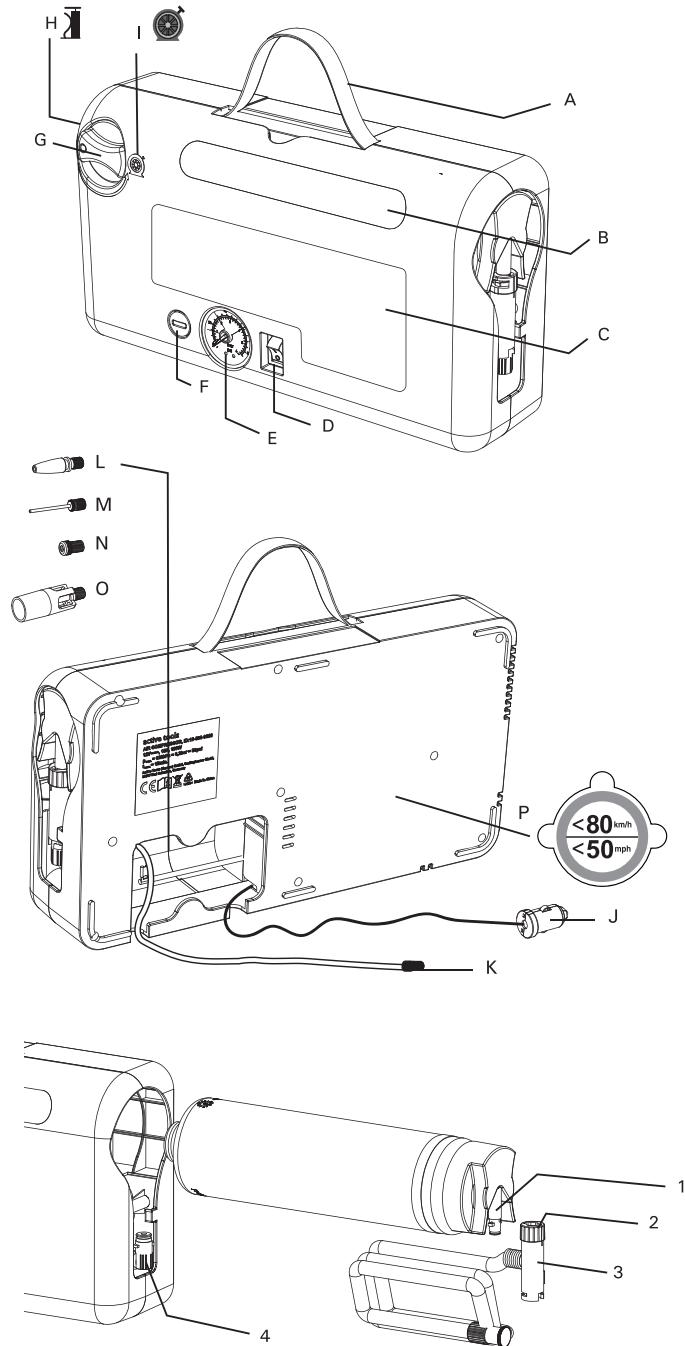
- ・TPMS(タイヤ空気圧センサー)を使用しているタイヤには影響を与える恐れがございます。ご注意ください。
- ・**指定空気圧2.7bar**を越えるタイヤサイズへの使用は出来ません。
- ・タイヤサイズの大きい4WD車へは使用出来ません。
(ランドクルーザー / ブラド / サーフ / バジェロ / テラノ / サファリ等へは使用出来ません)
- ・商用、バン用タイヤ、トラック用タイヤへの使用は出来ません。
- ・タイヤの内側ヘッポンジなどを装着されている場合は使用できません。

上記の他、使用が出来ないタイヤサイズもございます。下記の使用不可タイヤサイズ一覧をご覧下さい。

使用不可能タイヤサイズ一覧

インチ	タイヤサイズ	インチ	タイヤサイズ	インチ	タイヤサイズ	インチ	タイヤサイズ
24	305/35R24	20	255/50R20	18	285/55R18	16	295/75R16
	295/35R24		305/45R20		255/55R18		285/75R16
	285/35R24		295/45R20		285/50R18		265/75R16
			275/45R20		295/45R18		245/75R16
23	305/35R23	22	265/45R20			17	225/75R16
			295/40R20		315/70R17		275/70R16
22	325/55R22		315/35R20		285/70R17		305/70R16
	325/50R22		335/30R20		265/70R17		265/70R16
	305/45R22				245/70R17		255/70R16
	285/45R22				235/70R17		245/70R16
21	285/45R22	19	275/55R19		285/65R17	16	235/70R16
	275/45R22		255/55R19		285/65R17		235/70R16
	305/40R22		265/50R19		275/65R17		225/70R16
	285/40R22		275/45R19		265/65R17		255/65R16
20	295/40R21	18	285/45R19		245/65R17	15	225/80R15
	325/30R21		325/30R19		235/65R17		215/80R15
20	285/65R20		215/85R18		255/60R17		225/75R15
	325/60R20		305/65R18		275/55R17		235/75R15
	245/60R20		275/65R18		335/35R17		265/70R15
	305/55R20		265/65R18				255/70R15
20	285/55R20		235/65R18			16	235/70R15
	275/55R20		325/60R18				235/70R15
	275/55R20		285/60R18				275/60R15
	305/50R20		275/60R18				255/60R15
20	285/50R20		275/60R18			16	235/80R16
	275/50R20		265/60R18				215/80R16
	265/50R20		255/60R18				235/80R16
	265/50R20		245/60R18				215/80R16

—コンプレッサー詳細図—



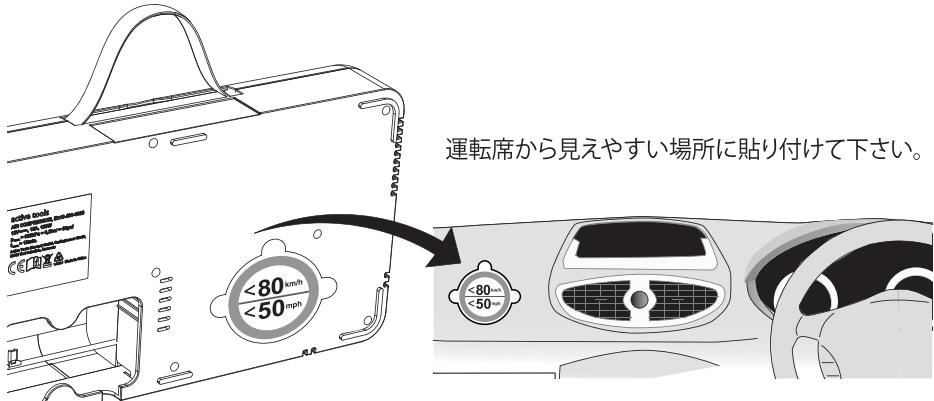
— 製品説明 —

	パーツ名称	
A	ハンドル	本製品を持ち運ぶ際に、使用します。
B	シーラントボトル、使用期限	タイヤを応急処置するためのシーラントが入っています。
C	シーラント性能シール	応急修理後の制限速度と可能走行距離が記載されています。
D	パワースイッチ	本製品の電源のオン、オフを操作します。
E	空気圧計	タイヤの空気圧を示します。
F	空気減圧ボタン	空気圧が高すぎる時に空気を抜くことができます。
G	セレクタースイッチ	シーラント注入か空気のみ注入かを選択します。
H	空気注入モード	空気のみ注入するモードです。
I	シーラント注入モード	シーラントと空気を注入するモードです。
J	12Vパワーコード	12Vのシガーソケットへ差し込みます。
K	エアー＆シーラントホース	ホイールのエアバルブとつなぎ、タイヤの中にシーラントを注入します。
L M N O	アダプター	エアー＆シーラントホースに接続し、ボール、スポーツ用品、バイクなどの空気圧調整が可能です。
P	スピードラベル	応急修理後に走行する際の上限速度や上限走行距離を示したステッカーです。
1	シーラント 出口ノズル	シーラント 出口ノズル
2	シーラント 出口ノズルコネクタ	シーラント 出口ノズルコネクタ
3	自動バルブ	自動バルブ
4	空気噴出ノズルコネクタ	空気噴出ノズルコネクタ

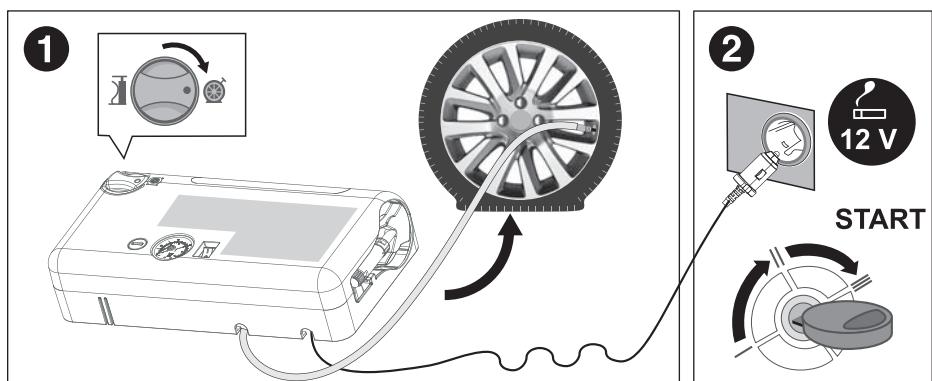
— 使用方法 —

応急修理作業を行う前に

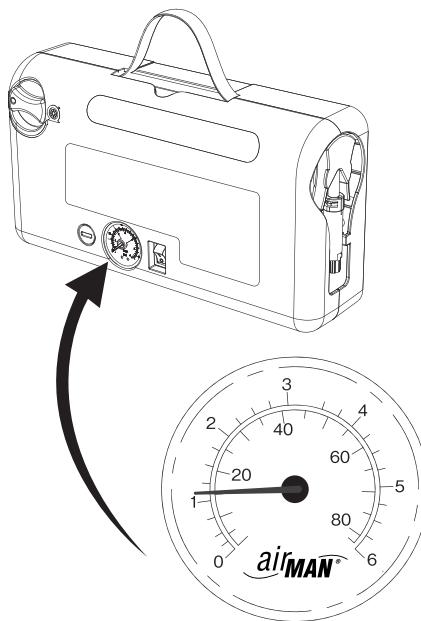
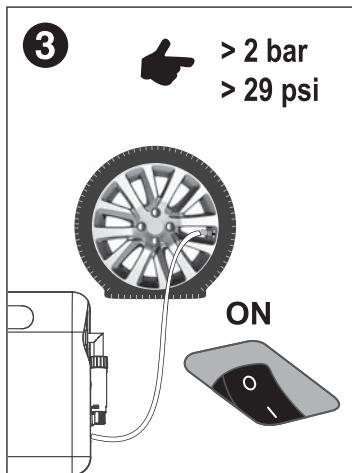
- ・ 三角表示板や発煙筒を使用して安全を確保の上、作業を始めてください。
- ・ 応急修理を行う前に、タイヤの損傷具合を確認してください。
- ・ ホイールのエアバルブの位置が下方にくるように停車してください。
- ・ シーラント液の使用期限を確認してください。
- ・ 作業中は、ゴム手袋・保護メガネ等のご使用をお勧め致します。また、作業完了後は必ず手を洗って下さい。



シーラントボトルのステッカーを剥がし、作業完了後 法定速度(上限速度80km/h以下)で走行するために見えやすい場所にはがしたステッカーを運転中見えやすい場所へ貼りつけて下さい。
その後、シーラントボトルの黒いキャップを取り外します。



- ① セレクタースイッチがシーラント注入モードになっており、電源がオフ(O)になっていることを確認してください。シーラントホースをタイヤバルブへ装着します。
- ② 12Vパワーコードをシガーソケット(12V)へ接続し、エンジンをかけます。



③ 電源をオン(I)にして、シーラントが完全にタイヤに注入されるまで待ち、適正な空気圧になったことを確認後 本体のスイッチをオフにし、コンプレッサーを停止させます。

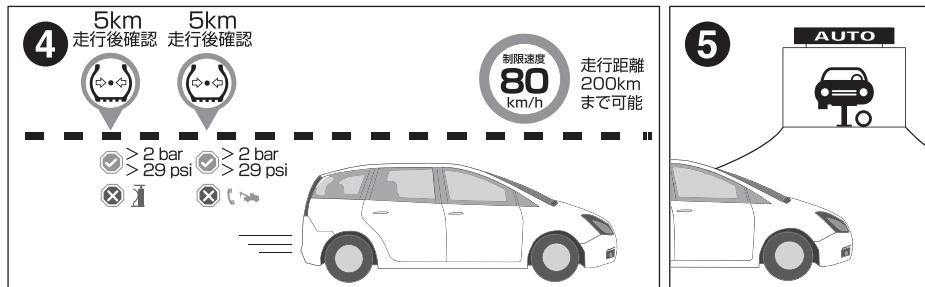
15分以上継続してコンプレッサーを使用しないでください。

ホースが冷めたら、パワーコードを車両のシガーソケットから外し、タイヤのエアバルブからホースを外しバルブキャップを締めてください。

※ 注意

- ・ 指定空気圧は、指定空気圧表示ラベル(運転席周辺、燃料給油口付近など)でご確認ください。
- ・ 作業中はホースが熱くなります。やけどをする恐れがございますので、冷めるまで触らないでください。
- ・ シーラントがタイヤの損傷箇所から少量漏れる場合がありますが、異常ではありません。

一 使用方法 一



④ 約5km走行後、空気圧が適正值で保たれているか確認してください。

空気圧が低下していたら適性値になるまで空気を入れ、更に5km走行してください。

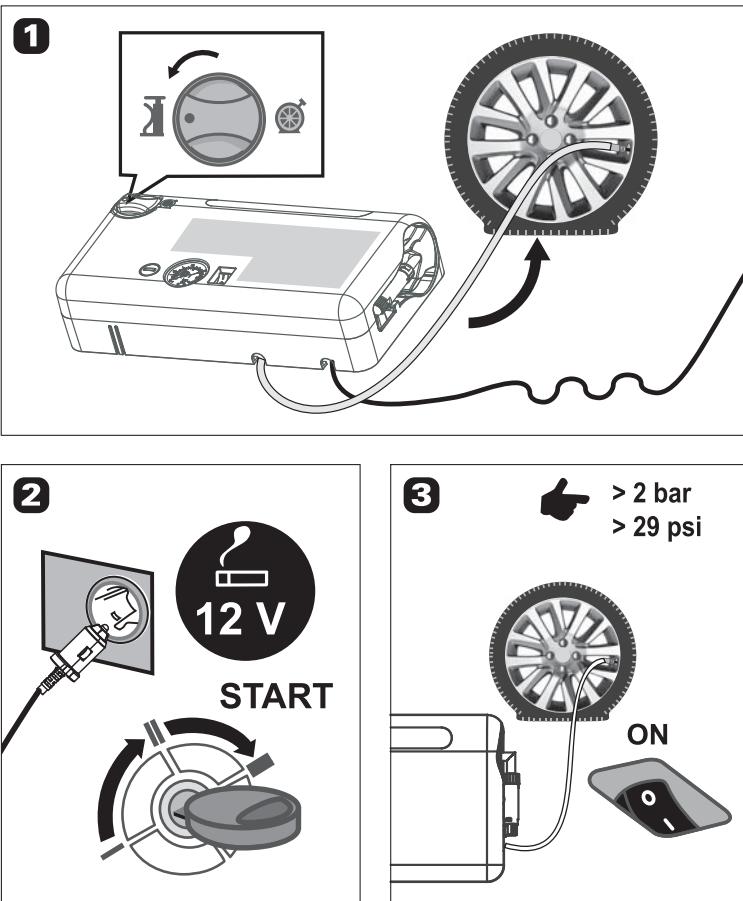
この時、タイヤ空気圧が1.4barを下回っているようであれば、自走を止め、修理工場などに相談して下さい。このような症状の場合は本修理キットでの補修は出来ません。

⑤ 本製品は応急修理ですので作業終了後、速やかに車両を最寄の修理工場、タイヤショップ、ガソリンスタンドなどへ移動しパンク修理もしくはタイヤ交換など適切な処置を受けてください。

※ 注意

- ・ 作業完了後、可能な限り速やかに車両を 最寄りの修理工場、タイヤショップ、カーショップ、ガソリンスタンド等へ移動してパンク修理もしくは、タイヤ交換等適切な処置を受けて下さい。
作業依頼時に、タイヤ内に【液体応急パンク修理剤】が封入されている旨を必ずお伝え下さい。
- ・ 走行時（距離200km 速度80km/h）を超えないよう法定速度で走行して下さい。
- ・ 使用後は、本製品の販売店で新しいシーラント液をご購入下さい。

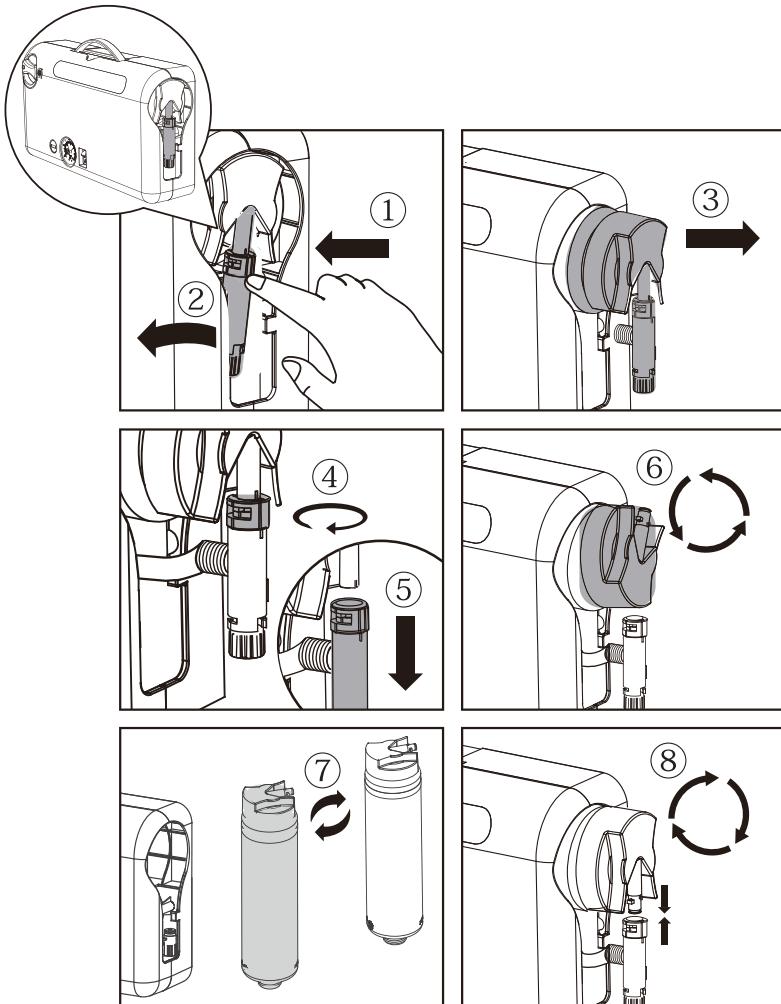
—空気注入—



- ① セレクタースイッチが空気注入モードになっており、電源がオフ(O)になっていることを確認してください。シーラントホースをタイヤバルブへ装着します。
- ② 12Vパワーコードをシガーソケット(12V)へ接続し、エンジンをかけます。
- ③ 電源をオン(I)にして、空気がタイヤに注入されるまで待ち、指定の空気圧になるのを確認してください。15分以上継続してコンプレッサーを使用しないでください。

—シーラントボトルの取替え方法—

本製品でタイヤ修理を行った後、シーラントボトルを新しいものに交換してください。
シーラントボトルのお求めは、本製品の販売店へお問合せください。



- ① シーラント出口ノズルを軽く押します。
- ② 押している間にノズルを少し左に回し、本体からボトルを離します。
- ③ ボトルを引きます。
- ④⑤ フタを時計回りにまわし、ボトルからノズルを外します。
- ⑥ ボトルを反時計回りに回し、ボトルを取り出します。
- ⑦ 新しいボトルを差し込み、時計回りに回します。
- ⑧ ノズルをボトルに取り付け、しっかりと留まっているか確認します。
ボトルを押し入れます。



タイヤ交換・修理作業依頼時には、
作業者へ【液体応急パンク修理液】が
封入されている旨を必ずお伝え下さい。

本製品のシーラント液には、プロピレングリコロールを使用しております。
使用期限を過ぎたシーラント液、作業後のシーラント液、シーラントボトルの処理は、
地域条例に従い廃棄してください。